

### 第3B(小)分科会 教育環境整備に関する課題

提案主題 地域・保護者と連携した教育環境をどう進めていくか

サブテーマ ～学校運営協議会の活性化をめざして～

協議の柱 学校運営協議会を活性化するための教頭の役割は、どうあればよいか。

提言者 日出町立川崎小学校 田中博恵

#### 1 質 疑

- (1) Q 学校運営協議会の委員と3部会の役割について聞きたい。また日出町の学校運営協議会の予算はどれくらいか。  
A 3部会には地域・保護者・教職員がそれぞれに入っていて地域の方が部長となっている。部会の進行は、部長が進めている。予算は、学校運営協議会と特色ある学校を併せて17万円です。
- (2) Q 学校運営協議会の全体会および部会の1年間の開催数を教えてほしい。  
A 全体会は5回開催します。内2回は学力向上会議と併用です。部会については、必要に応じて部会ごとに開きます。
- (3) Q 地域・保護者・学校ごとの人員数と各部会の地域・保護者・学校の割合は。  
A 3者とも5名で日出町は一緒です。各部にそれぞれに3者が入っています。
- (4) Q 年間5回の全体会や各部会の打ち合わせ等で教頭としての役割を教えてください。  
A 3年目なので年間計画に沿って事前に部長や教職員に声かけをしている。その他案内送付や学校運営協議会便りを出している。
- (5) Q 学校間の情報交換で、教頭の役割で共有できたことを教えてください。  
A はじめは教頭として全てしなければと思っていたが、他校の様子を聞き、部長や教職員に任せるところは任せようようにした。

#### 2 協 議

- (1) 学校運営協議会は杵築市以外取り組んでない。杵築市は、学校独自で取り組んでいる。地域は協力的だが、予算がついてない。教頭の役割は連絡調整。学校の願いを学校運営協議会に受けてもらう、地域・保護者が自主的に活動できるように結びつけている。
- (2) 学校運営協議会に取り組んでいくのによい道標となった。既存の組織をいかに結びつけが重要。学校が求めているものが何かを運営協議会に発信することで、教頭がコーディネートしていく。
- (3) 学校運営協議会を立ち上げた別府市では、組織の構成は日出と同じ。別府市は小中で連携した運営組織。教頭としての役割は組織づくりと見通しを持った計画づくり。PTAや育生会の活動との関連(重なり)をどう調整していくかが重要となる。
- (4) 学校規模や実状に応じた組織運営の方法を工夫することがポイント
- (5) 教頭は連絡調整役として、計画的に見通した各部会や担当教員等への働きかけが必要。

#### 3 指導助言

田中先生の取組を見ると、PTAと学校運営協議会の部会をうまく連動させボランティア会員の確保に取り組んでいる。田中先生が学校のコーディネーターの役割を果たしている。地域・家庭との連絡調整、組織づくり、教職員の意識付けに取り組んでいる。また、学校運営協議会の活性化に向け地域・家庭・学校が協力し合える関係をつくっているのが成果といえる。

課題については、外部講師人材育成マップについては教頭会で情報交換し共有して作成していくとよい。また、町内のコーディネーターとして中学校区に少なくとも1人配置してもらうように校長から教育委員会へ呼びかけをしてもらいたい。

コミュニティスクールの成果は大きい、会議が増えたと多くの校長先生の声を聞く。「働き方改革」がいわれている。来年度の新学習指導要領の先行実施を控え、多くの業務を教頭先生が抱えるのではなく、補佐役としてのミドルリーダーを多く育成してほしい。そのことが学校運営協議会の活性化にもつながっていく。